

K-ふれあいネット&架け橋

発行：令和3(2021)年3月15日

上都賀教育事務所ふれあい学習課：鹿沼市今宮町 1664-1 TEL0289-62-7167



新型コロナウイルス感染症で社会を取り巻く環境や人々の考え方、生活は激変しました。その禍にも負けず進み続ける社会教育・生涯学習の情報を地区内社会教育主事有資格者や教職員の方々、社会教育関係施設の方にお知らせします。

上都賀地区ふれあい学習ネットワーク

あなたの「コロナ禍を乗り越えるためのキーワード」は何ですか？

今年度の「ふれあい学習ネットワーク」は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、YouTubeでの動画配信という形で実施いたしました。これは、これまでのふれあい学習課の主催事業の中で、初の試みとなりました。例えば、動画配信になっても、本来のねらいである「参加者同士のつながりづくり」や「活動の充実のための「当事者意識」をもつこと」をどのように演出したらよいか・・・など、私たちは予測すらしたことのなかった事態に、手探り状態の中、試行錯誤しながら準備を進めることになりました。

今年度は、多くの地区内の皆様も、御自身の活動を進めていく中で、同じような経験をされていらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし、その一方で、私たちもそうであったように、たくさん悩んだからこそ見えてきたアイデアや気づき、新たな課題が発見できたことも事実なのではないのでしょうか。

そこで、今年度の研修では、コロナ禍で感じたり考えたりした皆様の「記憶」を「記録」として残し、今後の推進に役立てていく内容にしました。



「コロナ禍を乗り越えるためのキーワード」とは



研修は、2部構成とし、研修①（2月15日【月】～2月26日【金】）では、実際に活動している方々のインタビューを御覧いただいたり、参加の皆様にも、御自身の「記憶」を整理し、「コロナ禍を乗り越えるためのキーワード」を考えていただいたりしました。

また、研修②（3月8日【月】）からHP<左記2次元コード>で公開では、研修①でいただいた皆様の御意見や考えていただいた「キーワード」を、参加者同士で共有しました。（研修に御参加できなかった方も御覧になれます。）

アンケートやインタビュー等に際し、御協力くださった皆様、大変お世話になりました。

上都賀教育事務所ふれあい学習課

研修①へ参加し動画を御覧いただいた方々の感想（一部抜粋）



○生涯学習課職員

それぞれの立場の方が、コロナ禍に嘆くことなく前向きにできることを粛々と進めている様子が印象に残りました。今まで進めてきたことを無かったことにするのは簡単ですが、コロナというピンチを機会と捉え、今まで思い至らなかったような工夫やアイデアを出し、怖がらずにリニューアルしていくことが自分には必要だと感じました。

○地域コーディネーター

活動している方々のお話を聞いて、それぞれの立場で様々な思いを抱えながらも奮闘されていることを改めて知ることができた。自分自身の活動とも共通して言えることは、誰もとりこぼさず、一人ひとりを大切にしながら、今できることを試行錯誤しながらも取り組んでいることだ。

また、宮地さんの仰っていた「自分だけでなんとかしようと思わない」ということは、とても大切な「キーワード」だと思った。

○家庭教育関係者

「活動の中止」という今まで考えてもみなかったことに遭遇し、本来の活動意義自体が薄れてきているところですが、皆さんの声を聴いて、もう一度「つながっていく」「出来ることを探してみよう」という思いに至りました。

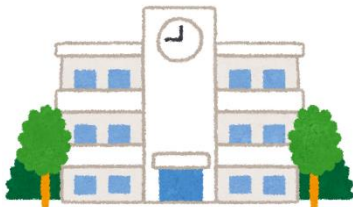
○学校職員（教員）

コロナ禍の中でもどんな思いや工夫をして活動していたのが、12人の方の熱い思いと共に伝わってきました。緊急事態宣言中は私自身も夢中で1日1日を過ごしていましたが、そこには一緒になって考える仲間がいました。より一層絆も深まったと思います。

この研修に参加して今ここで立ち止まって自分達が何を工夫してきたのかを記録として残しておくことの大切さに気付かせていただきました。

○大学生

今現在は、徐々にコロナウイルスの感染が収まってきつつありますが、コロナ禍での記憶はやはり残していくべきだと思いました。様々な角度から関わっている方々の貴重なお話が聞けて視野が広がった気がします。学校教育では人権教育の推進や、家庭教育支援の充実、デジタル格差などがキーワードとして挙がってくると思います。



頑張る学校・地域！ 応援プロジェクト



栃木県教育委員会では、令和2年度から「頑張る学校・地域！応援プロジェクト」を開始しました。この事業の目的は、新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現するため、「地域とともにある学校づくり」及び「学校を核とした地域づくり」への一体的な支援を行うことにより、子どもたちの豊かな人性や主体的に考える態度を育むとともに、子どもの学びを支える地域の教育力の向上を図ることです。

今年度は、鹿沼市立津田小学校・南摩中学校の2校を本事業モデル校として指定させていただきました。両校ともに次年度からコミュニティ・スクール（学校・家庭・地域が一体となって学校運営を行い、「地域とともにある学校」へと転換していくための仕組み）が始まることに伴い、地域連携支援チーム（地域連携マイスター・教育事務所、市教委担当者等）を両校に派遣し、コミュニティ・スクールに向けた仕組みづくりや活動内容の検討、会議や研修等に関する支援を中心に行わせていただきました。

鹿沼市立津田小学校

「学校と地域の連携推進モデル事業」の取組から ～各校から“これから頑張る学校”へのワンポイントアドバイス付き！～

鹿沼市立南摩中学校

<ワンポイントアドバイス>

- ・新しいことを始めるのではなく、今までの取組に光をあて、見つめなおすこと
- ・今までの学校と地域の関係性を生かして、あせらず、あわてず、じっくりと！



津田小学校推進委員会の様子



南摩中総合的な学習の時間の様子

<ワンポイントアドバイス>

- ・地域の目標を設定すること（学校の目標とも関連）
- ・学校と地域の連携、協働活動をあらゆる機会ですべて啓発していくこと



今後のコミュニティ・スクールの設置に際し、学校や地域で従来行ってきた行事や取組を続けたり、広げたりしていくことの大切さを、研修や推進委員会での協議をもとに共有し、今後の方策についてじっくりと話し合いを行いました。

地域の多様な人材と連携したり、豊富な地域資源を活用したりしながら、総合的な学習の時間を中心に、生徒の主体的な学習（「自分たちで育てた野菜を給食の食材に」「地域の方へ感謝を伝えるカフェを開こう」など）を継続して行いました。

♪文化芸術による子供育成総合事業♪

我が国の一流の文化芸術団体やアーティストが、小・中学校等で公演し子供たちの芸術鑑賞能力の向上を図る文化庁の事業が行われました。

今年度は、コロナ禍により、残念ながら事業の中止や延期を余儀なくされた学校も多くありましたが、御協力くださった皆様、大変お世話になりました。

<R2 年度実施校・公演団体>

- みどりが丘小：根岸右司氏（絵画）
- 落合西小：藤平昌寿氏（管楽器）
- 鹿沼東小：伊藤渉氏（版画）
- 大桑小：過足雅之氏（和太鼓）
- 藤原中：藤平昌寿氏（管楽器）
- 今市小：東京フィルハーモニー交響楽団
- 栗山小中：東京フィルハーモニー交響楽団
- 清滝小：大嶋浩美氏（ピアノ）



東京フィルハーモニー交響楽団
(in 栗山小中学校)



芸術家の派遣事業（和太鼓）
(in 大桑小学校)

<R2 年度県伝統芸能実施校・公演団体>

- 永野小：落語～はなしの伝統芸能～

次年度の予定(上欄)

○地域連携教員等研修

R3年6月11日(金) 13:20～
日光市中央公民館
(オンライン参加可)

○PTA 指導者研修

R3年7月8日(木) 13:20～
オンライン開催

○人権教育指導者一般研修

R3年12月1日(水)～15日(水)
動画配信

○ふれあい学習ネットワーク

R4年1月28日(金) 13:20～
鹿沼市民情報センター

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点等から、内容の変更・中止になる可能性がございます。予め御了承ください。



上都賀地区の社会教育・ふれあい学習に関する情報は・

←ふれあい学習課 HP へ

上都賀 ふれあい

検索

